

大麦特報 (第3号)

令和8年2月
富山農林振興センター
なのはな農業協同組合

雪解け水や雨水などが停滞することで、湿害が発生して葉色が淡くなり、生育量が不足して収量の減少につながります。
ほ場の状況をこまめに見回り、排水につとめましょう。

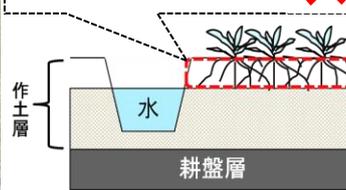
1 排水溝の点検・手直し

大麦は湿害に弱く、ほ場内に水が停滞すると、湿害により根の伸長が阻害されるため、生育不良になり、出穂後の登熟も悪くなります。停滞水を速やかにほ場外へ排水するため「排水溝の手直し」や「排水口への連結」をしましょう。

湿害を受けると、根が張れず養分が吸収できないため、葉色が淡くなる

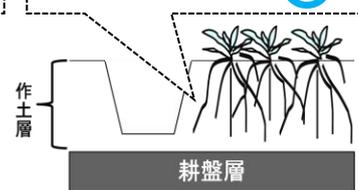


停滞水により根域が制限され、根の伸長を阻害 ❌



排水不良田

停滞水がないと根が伸長し、根張りが良好 ○



排水良好田

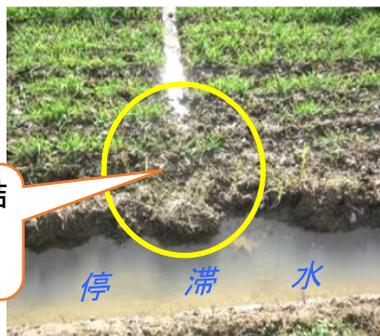
図 排水の良否と根の伸長のイメージ

- ・排水溝の崩れを直す
- ・溝を連結する
- ・停滞水を速やかにほ場外へ排水する

溝が崩れている



溝に連結されていない



- ・深く掘り下げた排水口と溝を確実につなぐ！
- ・停滞水をほ場外へ排水する！！

2 消雪後の追肥 (分施の場合のみ)

時期 3月上旬 (消雪後、速やかに追肥)

施用量 硫安 20kg/10a

※茎数が多くて条間の土が見えないようなほ場は、施用量を減らしましょう。

大麦専用肥効調節型肥料(エコ大麦44号)を施用したほ場では、原則として追肥は不要です。(排水しても葉色が淡い場合は、農協や農林振興センターに相談ください)